



▲ PN チータロ



▲ PN なつき



▲ 今石英子

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は、寄せられたお便り56通の中からチョイス



まにぼう

まにわが 好きっ

読者の広場

今月のテーマ

「自転車」

「良い運転マナーで」

森木明弘さん(久世)

自転車は免許が不要で、児童でも乗れるので自転車事故に対する危機意識が低いのではないのでしょうか。私は平素、

青バト(青色回転灯装備車)で児童の通学路を見守っていて、中高生の二人乗りや並進

運転、児童のヘルメット不着

用運転などを目にする時があり、ルール違反として注意を

行っています。中には「相手が避けるのが当然」と運転し



サイクリングを楽しむ人たち

ているように思える年配者も。マナーは悪くても罰則を受けませんが「ルール違反と紙一重」であることを心しましょう。自動車事故に遭わないためにも…。

「自転車の思い出」

PN 木目木六さん(上河内)

初めて自転車に乗ったのは大人用の大きなもので足が届かず横乗りでした。その頃は子ども用の自転車は珍しかったのですが、上の三人の子は女の子で四人目の私が男の子だったので嬉しかったのです。ようか、中古のものでしたが無理して子ども用を買ってくれたのです。喜んで乗り回して近所の川に落ち、耳の裏にケガの跡が残っている。姉達が集まった時、今でも話題になる。これが私の自転車の思い出です。

お便り
お待ちしております!

メールの場合は
hisho@city.maniwa.lg.jp

8月号 読者の広場

テーマは
「全力」です。

全力で取り組んでいた思い出や全力でがんばっている人について、200字程度でお寄せください。

川柳の兼題は
「夕立」です。

お便りは、先月号に同封したはがきをご利用ください。川柳の締め切りは6月30日(休)です。

7月号のテーマ
「帰省」

についてお便りを募集しています。
(6月10日締め切り)



昭和30年代の懐かしい自転車

「懐かしい思い出」

匿名希望さん

私らの子どもの頃は、今の時代でいう自動車と同じぐらいになくはならない乗り物であったように思う。今のよういろいろな自転車はなく、28インチとタイヤも大きくて高く、三角フレームとなっていて、私はまだ体も小さくて三角フレームに足を入れて横乗りのような形で練習をして、1週間で一生懸命頑張っ

て乗れるようになった。後に母からおつかいを言われてお店が近くにあったのでよく自転車で رفتっていた。自転車が家に一人に一台ずつもなかった時代であったが、今は一人一台ずつ自動車を所持時代になった。若い頃に自転車ではこぼこ道を会社勤めをしていた事を思い出し、一日でも早く自動車はもうろんだためでもオートバイでも買えるように仕事をしていた。今、想像もつかない時代になり、懐かしい若い頃の思い出として心に残っている。

「自転車」

稲岡雅子さん(上)

70年前の小学5年の頃、当時28インチという大人が乗る自転車を父に借り、片道4キロもある校庭で来る日も来る日も自転車で乗りたい一心で、家に帰る事も忘れ、練習して乗



★対象★

発行月に1歳の誕生日を迎えられる市内在住のお子さん。

★応募期限★

誕生月の前の月の10日まで

★掲載内容★

①お子さんの写真②氏名(ふりがな)③性別④生年月日⑤住所⑥応募者のお名前と続柄

★応募および問い合わせ先★

真庭市役所秘書広報課

〒719-3292 真庭市久世2927-2

TEL7-42-1163 (FAX1353)

E-mail: hisho@city.maniwa.lg.jp

※㊟＝応募者



ひら れんと
平 廉仁 くん
H27. 6. 24 生まれ(下皆部)
㊟ 有希・美紀さん(両親)

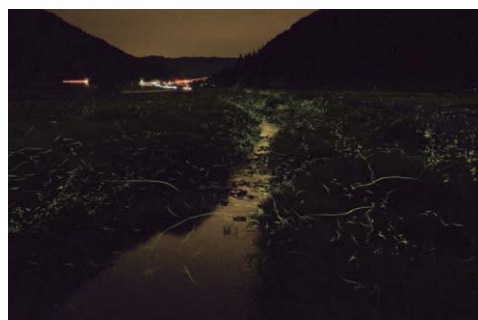


かたやま ひより
片山 陽依 ちゃん
H27. 6. 23 生まれ(中)
㊟ 功雄・明九美さん(両親)



おおした ふか
大下 風香 ちゃん
H27. 6. 2 生まれ(富尾)
㊟ 真也・公香さん(両親)

れるようになった。その時の達成感は今でも脳裏に焼き付き、
当時鮮明に思い出されます。
今、5才のひ孫の女の子ですが、昔とはまったく違うカラフルな愛らしい自転車を楽しんで鳴らし、その音色は格別。はじめは母についても
らいながらの練習の日々でしたが、いつしか一人で乗れるようになり、母が見守る中、
スイスイと乗り、その時の達成感、喜びは格別な笑みでした。私も幼き頃、大きな自転車に
またがり、ペダルによって足が届く中で味わった達成感が、ひ孫と同じ気持ちなんだと嬉しく、そして昔が懐かし、今、ひ孫の笑みが見られるのが最高の幸せと思いが、また頑張つて生きなくてはと心新たにしています。



北房地域のホタルの乱舞

「日本一、北房のホタル」
岩藤昭さん(下中津井)
県内でただ一カ所、環境省指定の「ホタルの里」が北房の備中川です。先年の「北房ホタルサミット」の参加者は多数のホタルに圧倒され、研究者の一人は「こんな多くのホタルを初めて見た。日本一と言つて良いだろう」と話されたとか。6月10日前後の夜9時頃、北房振興局近くの川沿いでは、一目数百匹、いや一望数千匹のホタルの乱舞を目にすることが出来る。皆さん、初夏の一夜、日本一のホタルを見に来ませんか。

広報クイズ 知ってる? まにわ

クイズに答えて
まにわ通になろう!

Q: テレビはこ がた か でん小型家電としてかい しゅう回収できる?

■応募方法

はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号⑤クイズの答えを明記し応募してください。正解者には、抽選で記念品をお送りします。なお、発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

■応募先

〒719-3292 真庭市久世2927-2

真庭市役所秘書広報課「広報クイズ係」

■応募締切 6月20日(月)まで

☎ 秘書広報課 横山・升本 TEL7-42-1163 (FAX1353)

5月号の正解は…真庭市立中央図書館(中央図書館)でした。

みんなもごみの減量化と
再資源化に協力してくれ!



まにぞうバアバ



▲ PN ギンコロ



▲ PN ユーラシア



▲ PN となりはトトロ



ネイチャーワークで交流
和田ひろみさん(田原山上)
4月24日に行った上田むら
ネイチャーワーク。野鳥観察
やノルディックウォークの後
には旧上田小学校でおこわや
天ぷらなど山菜でんこ盛りの
ランチに舌鼓み。大人子ども
関係なく自然のなかで大いに
はしゃいだ1日になりました。
上田むらに来て新しい発
見や色んなぬくもりを感じて
もらえると思います。次回
もぜひ楽しみにして下さい！

お茶娘になつて茶摘み
三上葉瑠花さん(若代)
平内明日歌さん(高田山上)
宮田歩実さん(岩井谷)
齋木まいさん(下方)
富原お茶まつりに参加しま
した。早乙女姿は見た目より
重ねて着ているので、茶摘み
体験は大変でした。お茶を摘



釣り大会に参加しました
小田啓一さん、蒼一郎くん、
彩瑛ちゃん(組)
勝山の子ども釣り大会に初
めて参加しました。この日が
来るのがとても楽しみです、前

取材先で、こんにちは。

真庭人
ま にわ ひと

んでいる時には新茶のいい香
りがして、出来たてのお茶も
とてもおいしかったです。



の日の夕方には、家の前で竿
の出し方を練習してたくさん
魚を釣るイメージを膨らませ
ていました。初めての釣りは
お父さんに教えてもらいな
がりました。魚が食いついた
時に竿から伝わる感覚がとて
も面白かったです。釣りの最
後にした魚のつかみ取りも楽
しかったです。釣った魚は早
速、今晚のバーベキューで塩
焼きにさせていただきます。

図書館へ行こう！ 本の紹介

真庭市立久世図書館

〒719-3214 真庭市鍋屋17-1

エスパセンター2階

TEL 7-42-7203 (FAX 7204)

開館時間 9:30~18:00

休館日 毎週水曜日(祝日の場合は翌日が休み)

今月のおすすめの本

「わんぱくだんのてるてるぼうず」

末崎茂樹/絵 ひさかたチャイルド



わんぱくだんのけん・ひろ
し・くみは、てるてるぼう
ずを作ることになりました。
すると突然ピカドドド
ーン！と雷が鳴り、てるて
るぼうずたちが立ち上がり
…。人気シリーズ最新刊、
今までの作品と一緒に楽し
みください。

「時間の使い方」

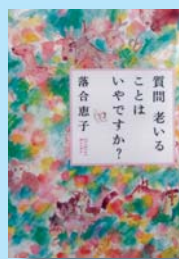
入江久絵/イラスト 旺文社

時間は誰もが平等に与えら
れていますが、過ぎてしま
ったら二度と戻ってきませ
ん。だからこそ、この本を
読んで日々の時間を大切に
使うきっかけにしましょ
う。時間を大切にすると生
活が、生活が変わると人生
が変わります。



「質問 老いることはいやですか？」

落合恵子/著 朝日新聞出版



老いはある日突然やってく
るものではありません。不
要な欲望からはできるだけ
解放され、自分にとって本
当に大事なものを素手
でぎゅっと握りしめて。古
希を迎えた著者が、自分ら
しい生き方をさぐります。

「カッコいい写真スタートBOOK」

エイ出版社

カッコいい写真を撮るとな
ると尻込みする人が多いの
ではないでしょうか。この
本では、プロが実践してい
る4つの法則を解説しほん
の少しの工夫を呼びかけま
す。絞り・露出など分から
なくても構図を知るだけで
自分の写真がちょっと変わ
りそう。



ヘルシー クッキング

6月は食育月間 「まにわ食育クイズ」に挑戦しよう

6月は食育月間です。また、毎月19日は食育の日です。真庭市食育・健康づくり実行委員会では、食育に関するクイズを行います。クイズに答えて、食の大切さについて、みんなで考えましょう。

クイズ

○か×でお答えください。

- 問1：料理に使う調味料で「さ・し・す・せ・そ」の「そ」は「みそ」のことである
- 問2：枝豆が成熟すると「大豆」になる
- 問3：ブロッコリーは葉の部分を食べている
- 問4：牛乳を温めた時にできる膜はカルシウムが固まったものである
- 問5：ほうれん草、小松菜、タマネギの100gの中にカルシウムが一番多く含まれている野菜は小松菜である
- 問6：世界三大穀類と言われているのは、お米、トウモロコシと大麦である
- 問7：マトンと呼ばれている肉は羊の肉である
- 問8：イカの数え方は本である
- 問9：汁物は、右側に配膳する
- 問10：うどんは、主菜に分類される

■応募方法

はがきに①答え(○か×)②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記し応募してください。全問正解者には、抽選で記念品をお送りします。なお、発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

■応募先

〒719-3292 真庭市久世2927-2
健康福祉部健康推進課
「真庭食育クイズ係」

■応募締切

6月30日(木)まで

■問い合わせ先

健康推進課 兵江・池田
TEL7-42-1050(FAX1388)



▲ PN ココナ



蒜山でジャージー牛の放牧始まる

4月27日、新緑の季節を迎えた蒜山高原でジャージー牛の放牧が始まりました。上蒜山を望む牧草地で牛たちがのんびりと過ごす様子は、観光客にも人気の蒜山高原ならではの風景です。

川柳「名刺」

選：勝山川柳会 原 健裕さん

8月号の兼題は「夕立」

名刺など持つ職業につかぬま
身についた名刺に勝る低い腰
色あせた名刺の跡はアパートに
いどこでも名刺交換してみたい
名刺出す夢も叶わず老いのみち
おらが村名刺はいらぬ顔がある
名刺など入らぬ人生つつましく
山里は名刺不要で気楽です
割り勘を名刺の裏にメモをする
肩書きも名刺もないけど愛がある
一枚の名刺に重荷背負うてる
留守番を名刺がしている知らぬ人
誠実に生きて名刺のない暮らし
名刺には載せない裏の顔も持ち
待ってます名刺の裏の走り書き
本当の顔は名刺の裏にある
農夫の手名刺代りの春野菜

〈軸吟〉

同窓会飛び交う名刺横目で見

健裕

仲田孝江	横山とも子	若田万寿子	牧 俊隆	菊池千江子	松尾千恵子	菊池俊男	美甘栄枝	永田寿道	小谷美紗子	植田万里子	木目木六	山野育代	長尾道子	君影草	行本慎五	西本艶子
組 久世	落合垂水	西原	本郷	月田	本郷	蒜山上長田	檜東	蒜山下見	月田	上河内	上	三阪	組 久世	岩井谷		